

フードバンクの取り組み

NPO法人フードバンクあしかが
理事長 高沢 友佳里



フードバンクあしがが

制度に辿り着くことが
必要な方へ

相談のきっかけづくり、
相談しやすい関係づく
りのお手伝いをしてい
ます。

さまざまな困難を
抱える人へ

貧困、精神疾患、孤独
障がい、ひとり親、、、

関係各所と連携して
います。

被災地へ

全国フードバンク推進
協議会に加盟していま
すので、全国の被災地
に食品や日用品を届け
ることができます。

こども食堂や
こどもの居場所へ

調味料や食材などを
お渡ししています。
また食育となるような
機会の提供もしていま
す。

やさしい社会へ

がんばっている人も
がんばれない人も
みんなが幸せを感じら
れる社会の実現を
目指しています。

取り組みについて

配布会（ひとり親家庭、準要保護家庭、
学校から対象者にお知らせ等）

相談
しやすい

こども食堂に（食材、間に合わなかった人
が家で食べられるように）

諦めない

民生委員さん、自治会長さんが見守る
地域の要支援家庭への訪問に持参

見守る

制度に繋げることができる人が
訪問のきっかけとして食品持参

制度に
繋げる





地域で孤立、相談する人もいない

- ▶ 男性、独居。生活保護を受けるには不動産売却が必要だが、祖父名義のままで権利関係が複雑。権利を整理する意欲が無い。税金や健康保険は滞納、困窮。
- ▶ いわゆる「ゴミ屋敷」どうしたらよいか分からない。誰に相談したらよいか分からず、地域でも孤立。
- ▶ フードバンクから、司法書士さんと連携して生活保護申請

高齢、孤立、制度利用拒否

- ▶ 70代の夫婦。妻は認知症が進み、夫は健康。収入は少しの年金で常に困窮。電気水道は使えるが、ガスが無く、夫が裏山で焚き木を拾い七輪で食事を作る。風呂は月に2回、足利市が発行するバス割引券で入浴施設に行く。
- ▶ 親戚はいるが、ほとんど助けてくれない、頼る気もない。
- ▶ 民生委員さんがフードバンクの食品を持参し、見守っていた。
- ▶ ある日、民生委員さんが様子を見に行くと夫が裏庭で死亡していた。妻は気付かずテレビを見ていた。その後、妻は足利市のサポートを受けて施設に入居した。

道でうずくまる高齢男性

- ▶ 道でうずくまって動けない人がいる、と民生委員さんからフードバンクに連絡が入る
- ▶ 病院から退院したばかりで生活困窮していた
- ▶ 悪徳業者が不当な契約で自宅に足場を組んで改修しようとしていた
- ▶ 民生委員さんと連携して消費生活センターから弁護士さんをお願いし、契約解除できた
- ▶ あらかじめ地域包括支援センターに預けていた食品を活用していただいた

国や自治体との 連携

食品アクセスの確保に関する支援策 パッケージ

物理的アクセス、経済的アクセスへフードバンク等
が連携して円滑に支援できるように取り組みが必要

災害ケースマネジメント

日頃からさまざまな連携ができている関係を災害時
にも活用、支援が必要な人の把握もできている

政府備蓄米の交付

フードバンク活動団体支援事業費補助金

足利市環境政策課フードドライブ、広報

農林水産省

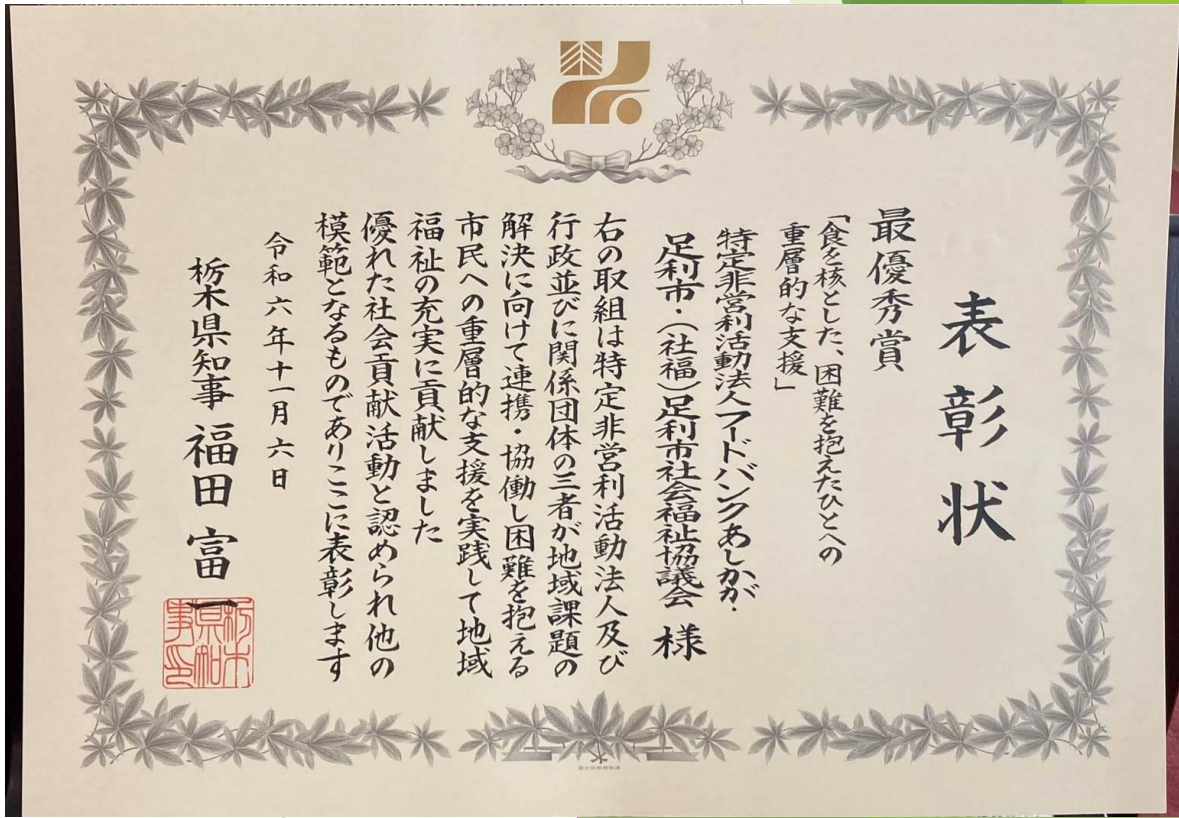
国の災害用備蓄食品ポータルサイト

栃木県保健福祉課

企業からの食品寄附の案内

主な連携先

- ▶ 足利市担当課
- ▶ 足利市社会福祉協議会
- ▶ 地域包括支援センター
- ▶ 民生委員さん
- ▶ こども食堂
- ▶ 第三の居場所
- ▶ 学校
- ▶ 企業
- ▶ 障がい者基幹相談支援センター
- ▶ 児童相談所
- ▶ など



食品は連携しやすいツールです

- ▶ フードバンクの食品をぜひ有効活用してください
- ▶ 行政をはじめ、地域包括支援センター、民生委員さん、子ども食堂や第三の居場所事業など、今もたくさんの方の連携があって成り立っています
- ▶ 制度の枠から少しだけ外れたところにフックを掛ける事ができたら何かできるかもしれません
- ▶ 事業所内に食品をストックする、訪問の方便として食品を使うなど、ぜひたくさん活用してください

課題

- ▶ 食品の取り扱いが不安定、予測がつかない
- ▶ 食品管理（温度管理などの衛生面、トレーサビリティ）
- ▶ 物流
- ▶ ボランティア
- ▶ 資金不足

食品だと「ほしい」と相談しやすい
食品だと活用しやすい、分かりやすい

ご清聴
ありがとうございました